

第 3 学年 算数科略案

指導者 伊藤 禎之

1. 日 時 6 月 18 日 (月) 2 校時 (9 : 40 ~ 10 : 25)

2. 単元名 新しい計算を考えよう (等分除と包含除)

3. ねらい 学習内容の理解を深め, 定着を図る。

4. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:40	1. 前時までの復習をする。	・ センターの先生を紹介する。	○ 前時までの復習問題を出していただく。(全体)	
9:45	2. 本時のめあてを確認する。	・ 授業の進め方を説明する。		
9:50	今まで学習したことを生かして, いろいろな問題に挑戦しよう 3. 問題を解く。 ・ 「じっくりコース」 ・ 「どんどんコース」	・ 「じっくりコース」を担当する。 ・ 机間指導をしながら, できた子どもは「どんどんコース」に進むように促し, つまづいている子どもにはヒントカードを示す。	○ 「どんどんコース」を担当していただく。(コース) ○ 発展問題を提示し, 理解の早い子どもに対応していただく。(楽しい問題, 難しい問題など)	
10:15	4. 本時の振り返りをする。	・ 振り返りの視点を示して, ねらいに合った自己評価ができるようにする。 ・ 感想発表をするよう指名する。	○ 本時を振り返っての感想や助言をいただく。(全体)	